



奈良県感染症情報

平成 31 年 第 9 週(2 月 25 日～ 3 月 3 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(2月)
- 気になる話題「今シーズンのインフルエンザについて」

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	6.50	(6.12)	→	→	→	→
2	インフルエンザ	4.56	(5.98)	↓	↓	↓	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	1.47	(2.18)	↘	↘	→	↘
4	RS ウイルス感染症	1.15	(0.59)	↑↑↑	↑↑↑	↑	→
5	咽頭結膜熱	0.56	(0.44)	→	→	↗	↑↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの報告数は先週に引き続き減少していますが、定点あたり報告数が1.0を下回るまでは注意が必要です。

RS ウイルス感染症の報告数は増加しており、特に中和保健所管内西部地域で報告数が多くなっています。インフルエンザも RS ウイルス感染症も、感染経路はともに飛沫感染と接触感染です。うがい・手洗いや咳エチケットなど予防対策に努めましょう。

感染性胃腸炎の報告数が増加しています。特に中和保健所管内で増加しており、年齢を問わず報告があります。調理を行う前や、食事の前、トイレに行った後など、流水と石けんによるこまめな手洗いを行いましょ。

◆ 病原体(ウイルス)検出情報(平成 31 年 2 月) ◆

*ウイルス分離同日での集計結果

検出病原体	北部	中部	南部	その他	臨床診断名
ライノ A		2			突発性発疹 (1)、肺炎 (1)
ライノ C	2	2			肺炎 (1)、鼻咽頭炎 (2) 肺炎・血球貪食症候群疑い (1)※
アデノ 1		1			肺炎・血球貪食症候群疑い (1)※
インフルエンザ AH1pdm	2	6			インフルエンザ (7)、上気道炎 (1)
インフルエンザ AH3	7	7			インフルエンザ (13)、 インフルエンザ A (1)

※重複感染

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 31 年 第 9 週 2 月 25 日 ~ 3 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	11	10	2	4		
インフルエンザ	251 (4.56)	74 (5.29)	48 (3.43)	55 (5.00)	61 (6.10)	4 (2.00)	9 (2.25)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	39 (1.15)	10 (1.11)	4 (0.44)	11 (1.57)	14 (2.33)			
咽頭結膜熱	19 (0.56)	4 (0.44)	4 (0.44)	2 (0.29)	7 (1.17)		2 (1.00)	
A群溶連菌咽頭炎	50 (1.47)	4 (0.44)	7 (0.78)	7 (1.00)	30 (5.00)		2 (1.00)	
感染性胃腸炎	221 (6.50)	35 (3.89)	48 (5.33)	64 (9.14)	68 (11.33)	3 (3.00)	3 (1.50)	
水痘	4 (0.12)	2 (0.22)	1 (0.11)		1 (0.17)			
手足口病	14 (0.41)	12 (1.33)	2 (0.22)					
伝染性紅斑	2 (0.06)		1 (0.11)	1 (0.14)				
突発性発しん	10 (0.29)		1 (0.11)	2 (0.29)	6 (1.00)		1 (0.50)	
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	1 (0.03)				1 (0.17)			
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	6 (0.60)	3 (1.00)	3 (1.00)					
基幹定点数	6	7	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)		1 (0.50)					
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(郡山1、中和3)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	梅毒2件(中和2)、百日咳1件(奈良市1、76歳) 麻しん2件(郡山1、中和1)

❖ 第 9 週のトピックス ❖

◆麻しん(はしか)患者の発生について(3月1日更新)

<http://www.pref.nara.jp/item/209666.htm#moduleid17426>

◆県内における麻しん(はしか)患者の増加について(3月5日更新)

<http://www.pref.nara.jp/item/209768.htm#moduleid17426>

平成31年2月28日に郡山保健所管内から、平成31年3月2日に中和保健所管内から麻しんの発生届がありました。

●医療機関の皆様へ●

発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、麻しんの予防接種歴の確認等、麻しんの発生を意識した診療をお願いします。患者(疑い含む)は、個室管理を行う等、麻しんの感染力の強さを踏まえた院内感染対策を実施してください。臨床症状から麻しんと診断した場合には速やかに保健所へ届出ください。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

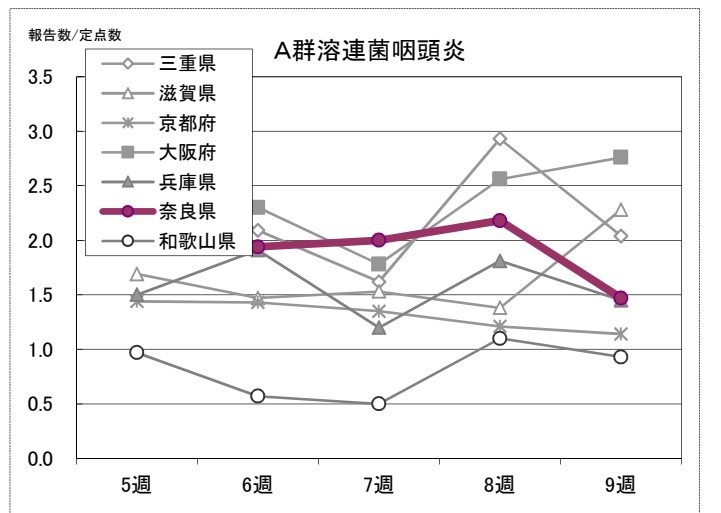
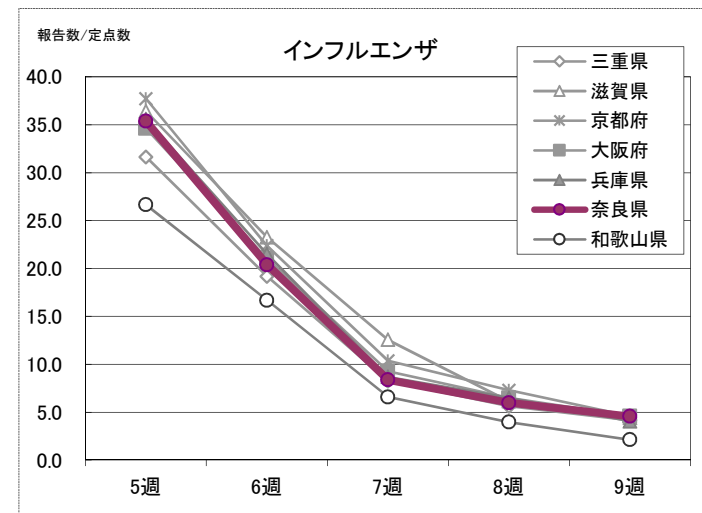
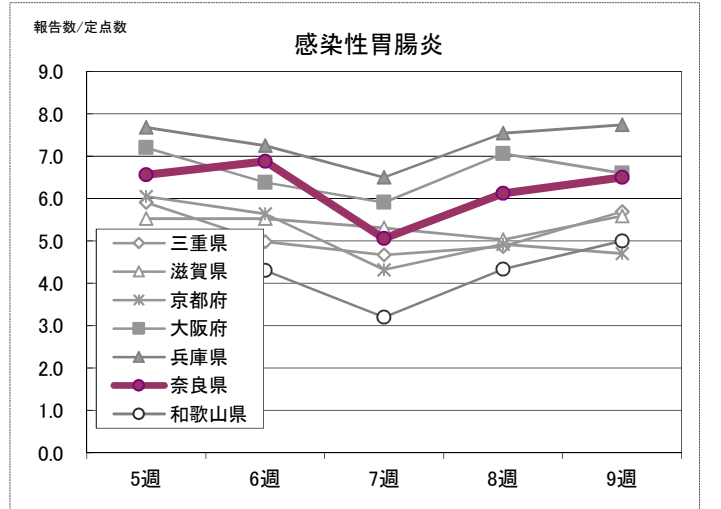
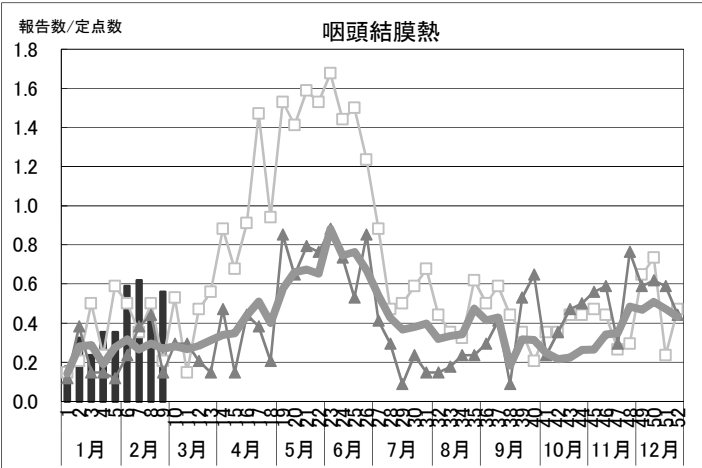
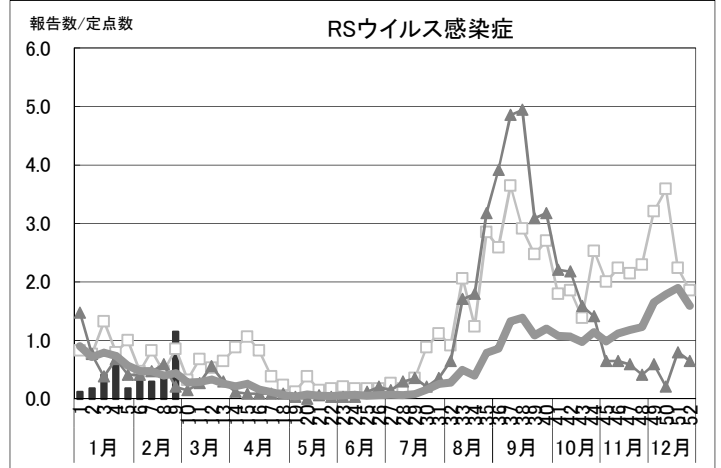
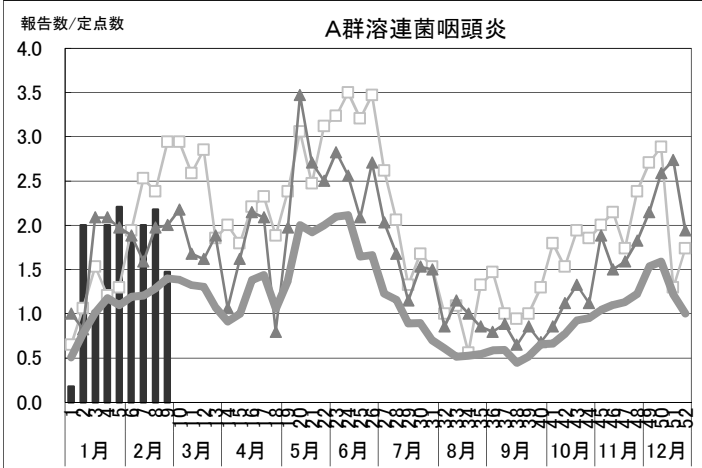
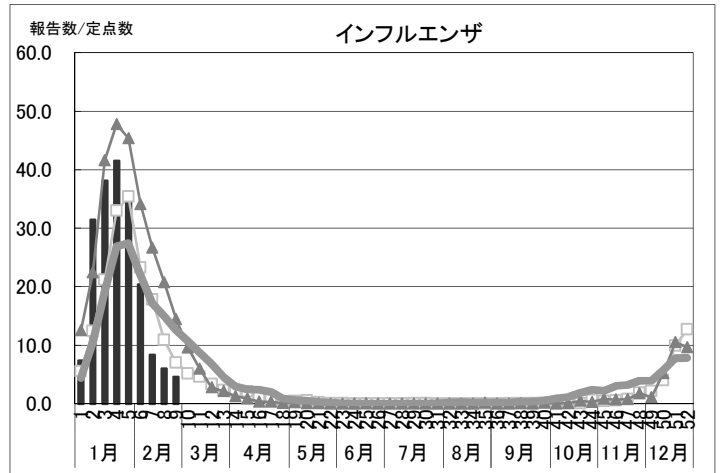
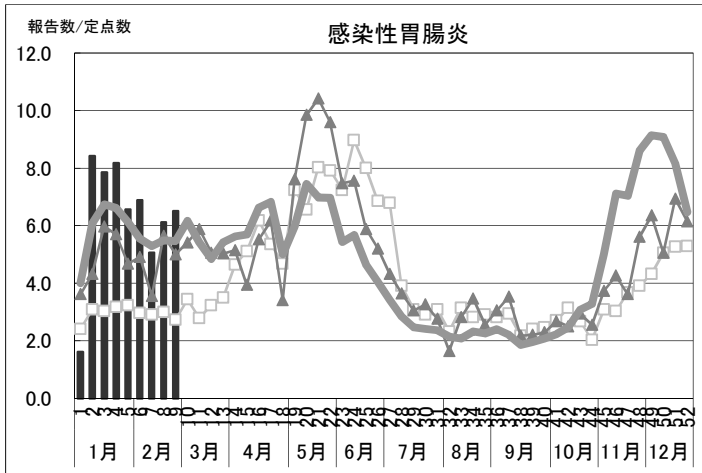
上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男	1	2	8	4	3	14	6	8	4	5	2	21	5	9	7	6	5	1	5	2	118	5258	
	女	1	1	5	11	6	5	3	5	11	6	4	15	7	7	9	13	8	7	4	5	133	5367	
RSウイルス感染症	男	5	1	8	4	2	2	1														23	74	
	女	2	3	4	4	2	2	1														16	63	
咽頭結膜熱	男		2	5	1	1	1	1	1													12	77	
	女		1	2	1	1	2															7	47	
A群溶連菌咽頭炎	男			2	2	3	4	2		2	1		2		1							19	259	
	女		1	3	1	2	2	5	5	2	1	4	5									31	251	
感染性胃腸炎	男	1	6	13	17	11	13	9	7	3	5	5	8	1	15							114	1009	
	女		5	16	13	11	10	7	5	4	4	2	13	1	16							107	935	
水痘	男												3									3	48	
	女												1									1	35	
手足口病	男		1		1		2		2													6	31	
	女			4	1	2	1															8	30	
伝染性紅斑	男								2													2	17	
	女																					2	14	
突発性発しん	男		1	4			1															6	51	
	女		1	2	1																	4	39	
ヘルパンギーナ	男																						4	
	女																						3	
流行性耳下腺炎	男							1														1	4	
	女																						7	
急性出血性結膜炎	男																							
	女				1																	2	28	
流行性角結膜炎	男																					4	26	
	女			1												2		1						
細菌性髄膜炎	男																						2	
	女																							
無菌性髄膜炎	男																						1	
	女																							
マイコプラズマ肺炎	男											1										1	6	
	女																						7	
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1	
	女																						2	

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H31 ▲ H30 □ H29 〰 過去10年平均



～今シーズンのインフルエンザについて～

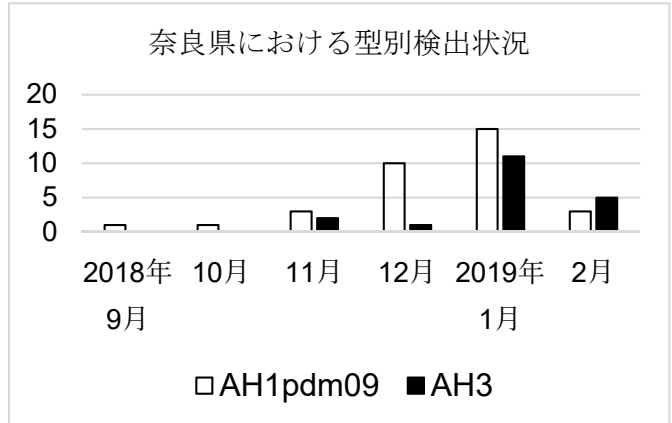


◇奈良県の状況◇

奈良県は2018年第48週に定点当たり報告数が1.0を超えました。その後、増加を続け、2019年第2週には警報開始基準値の30を超え、警報発令となりました。現在は、減少しつつありますが、定点当たり報告数が1.0を下回るまで注意が必要です。

保健研究センターの検査では、52例中（集団発生は1例と計上）AH1pdm09が33例（63.5%）を占め、AH3は19例（36.5%）であり、B型の検出はありません。流行開始時からAH1pdm09の検出の多い状況が続いてきましたが、1月からAH3の検出数が増加し、2月にはAH3の検出数がAH1pdm09を上回っています。

インフルエンザ脳症の届出は5例あり、4例がA型、1例がB型でした。



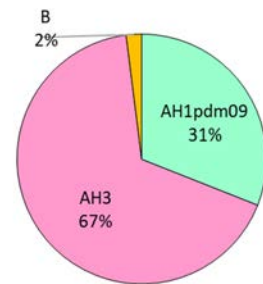
◇全国の状況◇

全国での今シーズン（2018年9月～2019年8月）のインフルエンザは、2018年第49週に流行開始の指標である定点当たり報告数が1.0を上回り、その後増加を続け、2019年第2週に38.54、第3週に53.91、第4週に57.09と急増しました。第8週には8.99まで減少していますが、予防対策は引き続き行う必要があります。

型別の検出状況は、2月2日時点の累積ではAH1pdm09が62%、AH3が36%、Bが2%であり、AH1pdm09が3分の2を占めていますが、直近5週間（第4週～8週）ではAH3が67%、AH1pdm09が31%、Bが2%とAH3の割合が増加してきています。

インフルエンザ脳症は、127例の届出があり、A型が107例、B型が1例、型別不明が19例となっています。

全国における直近5週間の型別検出割合



◇A型に2回感染する方もでていきます◇

年が変わってからAH3の検出が全国的にも増加しており、AH1pdm09に感染した人が、AH3にも感染するという事例も出ています。一度感染したから大丈夫というものではなく、A型にも2種類あるため再び感染する恐れがあります。また現在、B型の検出は全国的にも少ない状況ですが、今後流行してくると、さらにB型に感染する可能性もあります。一度感染した人も、また一度も感染したことがないから大丈夫と思っている人もしっかり予防対策を行うことが大切です。



(感染症情報センター)